

# サンククリア工法

省人・省力化・工期短縮・簡単施工・安全施工…**トータルコスト縮減!**

## ●特長

### 1. 油圧ジャッキ等によるカンタン施工

製品据付の高さ調整は、ツメ付油圧ジャッキで行うため、女性・高齢者の方でも無理なく行えます。

### 2. はさまれ事故のない安全施工

らくピタ(高さ固定ボルト)とU型鉄筋(基礎との一体化兼用鉄筋)とで、万一ジャッキがはずれた場合でも、製品にはさまれる事故を防ぐことができます。

### 3. ブロックと基礎コンクリートが完全一体化

製品に埋込まれた鉄筋は、製品と基礎コンクリートを一体化させ、また、掛かり止め効果を発揮します。特にL型擁壁は、敷均しモルタル不要で、基礎上面での滑動はなくなります。

### 4. 幅広い応用施工

製品が大型化するほど機能が発揮され、パネル・階段・基礎ブロック・L型擁壁はもとより、大型護岸ブロック・歩車道境界ブロック・自由勾配側溝、その他幅広く応用できます。

## 各種製品に対応可能



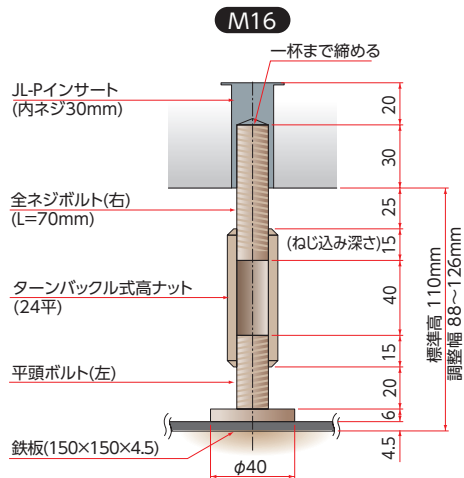
下記URLでサンククリア工法の紹介ビデオがご覧頂けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=7s-9gw4Fyew>

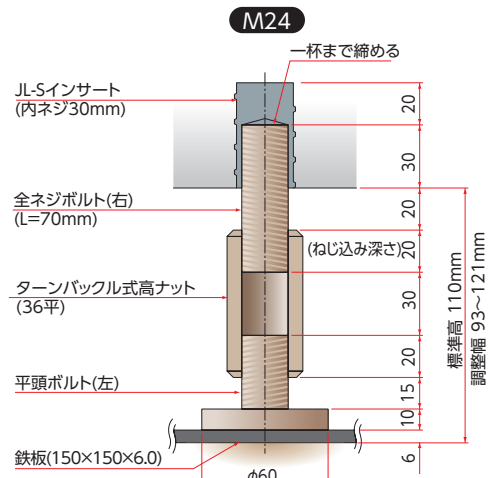


## らくピタ〈高さ固定ボルト〉

### ■Aタイプ標準品(L型擁壁例)



最大使用荷重(kN/本)	12.95
	(1.32tf/本)



最大使用荷重(kN/本)	32.73
	(3.34tf/本)

ねじ込み深さは、M16の場合15mm以下には絶対にして下さい。またM24の場合は20mm以下には絶対にして下さい。

※らくピタAタイプ標準品の他、各種サイズ、及びBタイプ(上下とも平頭ボルトにしたタイプ)もあります。

## サンククリア工法による擁壁工法とは

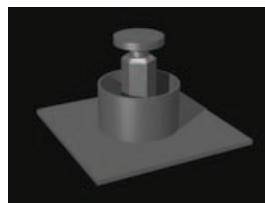
底版に開口部を設けたプレキャストコンクリート擁壁をジャッキにより高さの調整を行い高さ固定ボルトにより基面より浮かせて据えつけるとともに、開口部から後打ちコンクリートを打設することにより、プレキャストコンクリート擁壁と基面を一体化させるもので、据付け時間の短縮、据付作業の省人化、及び据付作業時の安全施工が図られる工法です。

国土交通大臣認定機関(一財)土木研究センターにより土木技術審査証明を受けています。

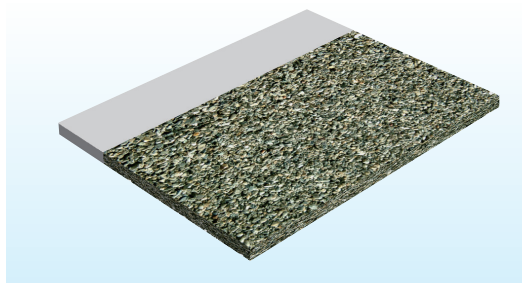
### ●特長

1. 製品本体と基面との隙間に打設される中込コンクリートにより製品底部と基面が一体化され高い滑動安定性が得られます。
2. 据付時における高さの調整は、従来の敷モルタルでなくGEOブロック(高さ固定ボルト)で行います。高い出来高精度が確保でき、省人化、工期短縮により高い経済性が得られます。
3. R=30m程度の曲線敷設に対応出来ます。

### GEOブロック



### 施工手順



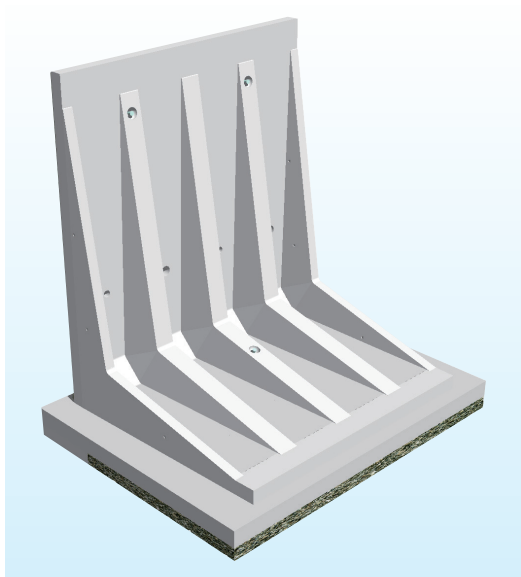
1. 均しコンクリート及び基礎材を施します。後工程に大きな影響を与えますので慎重な施工を心がけてください。



2. GEOブロック(高さ固定ボルト)を所定の位置に配置します。同時に事故防止のため角材を壁面側、背面側にそれぞれ2箇所と1箇所据えます。



3. ミルウォールを据付けます。ジャッキにより高さ調整を行った後、GEOブロックで固定します。GEOブロックは高ナット部を右に回転させると高さが増す方向に調整されます。



4. ジャッキ、角材等を取り除いた後、中込コンクリートを打設します。この時、振動棒にて十分突き固めを行います。  
5. 埋め戻し、転圧は30cm程度のまき出し厚さに対して入念に行ってください。水抜孔に対しては所定の排水処理を施してください。  
6. 完了。

注) 1日の作業は、必ず中込コンクリートを打設した後に終了してください。



大型張ブロック



大型張ブロック  
使用例

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

景観関連

河川関連

その他



側溝

その他  
使用例

大型階段ブロック



勾配可変側溝

